資料３

「ゴイッショやす」買い物付き添い支援の現状報告について

１.背景・経緯

全国的に、高齢化や核家族化の進行に伴い、一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が増加しています。また、歩行困難等の理由により外出を控え、自宅にこもりがちになる高齢者も増えています。このような高齢者の移動（外出）を支援し、地域や社会とのつながりを創出することは、フレイル（＝虚弱状態）の予防に大きな効果をもたらします。

本市において、高齢者の移動支援の具体化を図るため、令和６年 10 月に有償ボランティア「つれだし隊」を結成し、実証実験を経て、一定のニーズを把握するとともに、持続可能な運営の見通しが得られたことから、令和７年 10 月より本格実施し、約２年が経過しました。

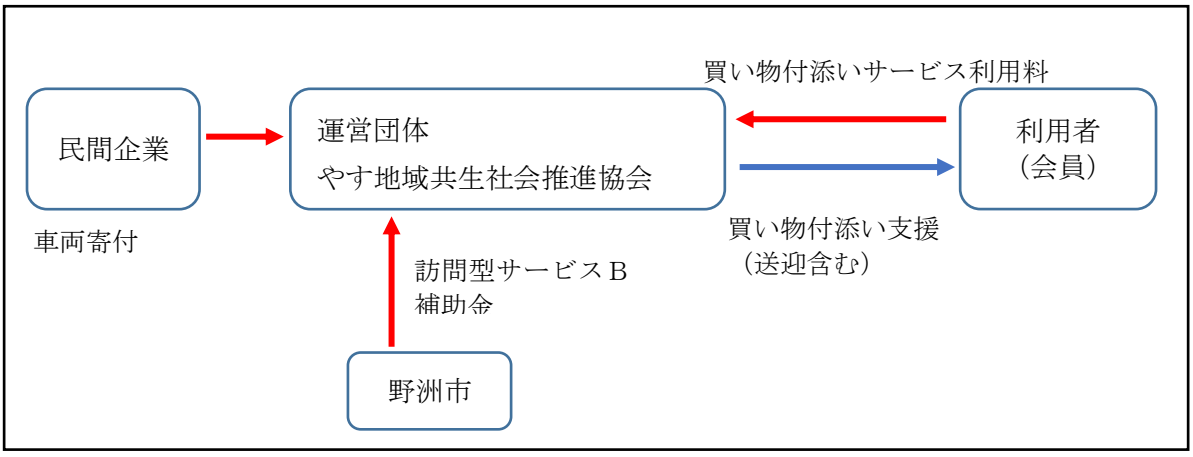
事業内容：買い物付添い支援サービス（介護予防・生活支援サービス事業の訪問型サービスＢとして実施）

実施団体：（一社）やす地域共生社会推進協会

料金等：基本料金１時間 700 円、登録制（チケットを事前購入）

対象者：通所介護施設共同送迎の利用者、介護予防・日常生活支援総合事業の対象者及び、怪我や疾病等によりこれらと同程度の状態にある者

２.事業の実施体制



運営団体の（一社）やす地域共生社会推進協会が利用者の受付から運行までを担っています。
野洲市は運営団体に対し介護予防・生活支援サービス事業の補助金を交付しています。

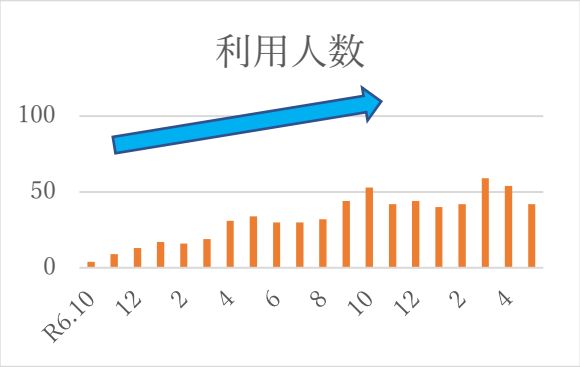
３.実績、成果

（１）実績

令和６年度は毎週木曜に実施。

利用人数が増えたため、令和７年８月下旬から活動日を週２回実施に設定。概ね２台の車で運行。

利用者人数　46 人、延べ 568 人



（登録者内訳）

	総合事業	要支援１	要支援２	その他
男性	0	6	1	4
女性	8	４５	１１	３４

※その他は、共同送迎利用者など

（２）成果

店内を歩き回ることで介護予防活動になっています。

買い物先で出会った仲間との会話や、新しい居場所としての活用、意欲の向上につながっています。

また、ボランティアの生きがい、やりがいの創出（参加しやすいボランティア）になっています。





４．今後について

現在は、認知症サポーター養成講座を受講いただいたアル・プラザやすにて実施しています。

今後、ニーズを聞き取りながら買い物の行き先を検討していきます。